

令和7年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立南港光小学校

令和7年4月

## 大阪市立南港光小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

昨年度は、学校行事もコロナ前に戻り、人数制限もなく運動会や学習参観・懇談会など地域・保護者が来校する行事が執り行われた。警察官を招聘した本格的な防犯訓練や交通安全指導、地震・津波、火災、台風を想定したすべての防災訓練も積極的に実施した。児童・教職員・保護者の危機意識が高まり、児童にも伝わった。次年度に向けて、地域と協同した防災訓練などを加え、今後も継続して有事に備えていきたい。

「いじめ」については「絶対に許さない」という思いを校長・教職員が、児童朝会や学級指導で児童に伝え続けた。学級担任は「いじめのない学級づくり」に取り組み、全教職員で協力して子どもたちの普段の様子をしっかりと見守った。SNSやライン等によるトラブルに備え、例年通り住吉警察署のサイバー防犯教室を実施した。2年続けてSNSによるトラブルが起きていることもありLINE株式会社によるSNSの安全な使い方等の出前授業も行い、情報モラルの育成に努めた。また、いじめ事象についても発出しスクールカウンセラー等とも連携して解消に尽力した。次年度も外部機関と連携した取り組みを継続していく。

教科指導では、算数科を研究教科とし、算数科を中心に全教科で自分の考えを表現し、互いに学びあう学習や分かりやすい授業の改善に努め、研究授業、研究討議会、公開授業を実施し、授業力を高めることができた。また区の教員研究発表で実践報告をした。

体験学習では、大阪の町の様子や文化にふれる学習も継続して行った。今年度は、住之江区の町工場見学や木津市場、文楽劇場の見学も加え、さらに地域や大阪の文化に触れることができた。学校アンケート「大阪や町の良さについて知ることができた」の肯定的回答が9割を越え、大阪の良さを知り、意欲的に学習できた。今後も継続して取り組んでいきたい。

昨年度は体育科の学習を楽しく運動できる授業を推進した結果、例年本校の課題であった「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」の握力の項目が大阪市平均を上回った。運動能力を高める実践を次年度も行っていきたい。また、学校保健委員会では、今年度もフッ化物塗布の学習を取り上げて、PTAも来校し体験を行った。学校の取り組みを知っていただき、児童の健康意識を高める啓発の機会となった。ICTの活用については、算数科で特にデジタル教材の活用が図られた。

○いじめについては、学校全体を俯瞰するといじめが目立っているように思える。自己肯定感と思いやりの気持ちを育てる取り組みを強化し、児童の意識を高め深める取り組みを考えていかなければならない。

○きまりを守ることについて、何の決まりを守れていないと思っているのかを明らかにして対策や呼びかけをする必要がある。

○人権の発表で「学校全体でこう取り組んでいます。」と言えるような系統立てた取り組みを考え、継続していく。

○学校全体として自己肯定感を高める工夫をするとともにし、お互いの思いやりの気持ちを表す言葉を育てていきたい。

#### 中期目標

##### 【安全・安心な教育の推進】

- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまりを守っていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ・ 災害避難訓練（防災 3 種火災、台風、地震・津波）と防犯訓練を実施し校内調査等における「火災や地震・台風がおこったら、自分で考えて行動できますか。」という項目において、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ・ 全国学力・学習状況調査・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を前年度より増加させる。
- ・ 校内調査の「大阪や自分たちの町のよさを知ることができた。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。

##### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・ 小学校学力経年調査・校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。
- ・ 校内調査の「理科の授業は楽しくて、よくわかる。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、70%以上にする。

##### 【学びを支える教育環境の充実】

##### 【教職員の働き方改革に関する目標】

- ・ 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80%以上にする。
- ・ ゆとりの日については、月 2 回以上設定する。また、学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては 1 日以上設定する。

##### 【生涯学習の支援】

- ・ 学校図書館やその蔵書を活用した授業を週に 1 回以上、もしくは月に数回程度行ったと回答する学級担任の割合を 100%にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 91%以上にする。(前年度 72.9%)
- ・小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 91%以上にする。(前年度 87.9%)
- ・災害避難訓練（防災 3 種火災、台風、地震・津波）と防犯訓練を実施し校内調査等における「火災や地震・台風がおこったら、自分で考えて行動できますか。」という項目において、肯定的に回答する児童の割合を 91%以上にする。
- ・全国学力・学習状況調査・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を前年度より増加させる。(前年度 77.1%)
- ・校内調査の「大阪や自分たちの町のよさを知ることができた。」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 91%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 75%以上にする。(前年度 59.4%)
- ・校内調査で「理科の授業は楽しくて、よくわかる。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。(前年度 70%と設定)

### 【学びを支える教育環境の充実】

【教育 DX】授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)(まなびのポータルを通す集計方法では前年度未達成)

#### 【教職員の働き方改革に関する目標】

- ・年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80%以上にする。  
(学校独自の集計では 74%)
- ・ゆとりの日については、月 2 回以上設定する。また、学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては 1 日以上設定する。

#### 【生涯学習の支援】

- ・学校図書館やその蔵書を活用した授業を週に 1 回以上、もしくは月に数回程度行ったと回答する学級担任の割合を 100%にする。

本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

## 大阪市立南港小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を91%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を91%以上にする。</li> <li>・災害避難訓練(防災3種火災、台風、地震・津波)と防犯訓練を実施し校内調査等における「火災や地震・台風がおこったら、自分で考えて行動できますか。」という項目において、肯定的に回答をする児童の割合を91%以上にする。</li> <li>・全国学力・学習状況調査・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。</li> <li>・校内調査の「大阪や自分たちの町のよさを知ることができた。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を91%以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① <b>【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>生活指導による週目標を振り返ることで規範意識を高め、学校生活に生かす。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、91%以上にする。</p>	
<p>取組内容② <b>【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>災害避難訓練(防災3種火災、台風、地震・津波)と防犯訓練を実施し、防災・減災教育に全校で取り組む。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>災害避難訓練(防災3種火災、台風、地震・津波)と防犯訓練を実施し校内調査等における「火災や地震・台風がおこったら、自分で考えて行動できますか。」という項目において、肯定的に回答する児童の割合を91%以上にする。</p>	
<p>取組内容③ <b>【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b></p> <p>学級でのさまざまなとりくみの中で、お互いのよさを認め合い、自尊心を高める活動を取り入れる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>全国学力・学習状況調査・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。</p>	

<p>取組内容④【<b>基本的な方向 2 豊かな心の育成</b>】</p> <p>大阪や自分たちの町の歴史や文化にふれる体験学習を実施する。</p>	
<p>指標</p> <p>校内調査の「大阪や自分たちの町のよさを知ることができた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、91%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

## 大阪市立南港小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。</li> <li>・ 小学校学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 75% 以上にする。</li> <li>・ 校内調査で「理科の授業は楽しくて、よくわかる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① <b>【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> 算数科の学習において、基礎基本の定着を図り、分かりやすい授業を推進する。	
指標 ・ 校内調査の「算数の授業の内容はよくわかる。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を全学年 75%以上にする。	
取組内容② <b>【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> 体育科の学習において、体力向上を図り、楽しく運動できる授業を推進する。	
指標 ・ 校内調査で「体育の授業は楽しい。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。	
取組内容③ <b>【基本的な方向5 健やかな体の育成】</b> 理科・生活科の学習において、基礎基本の定着を図り、分かりやすい授業を推進する。	
指標 ・ 校内調査の「理科や生活科の授業は楽しくて、よくわかる。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、75%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	



次年度への改善点

## 大阪市立南港小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>【教育 DX】授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)</p> <p>【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80%以上にする。</li> <li>・ゆとりの日については、月 2 回以上設定する。また、学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては 1 日以上設定する。</li> </ul> <p>【生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的におこないましたか」に対して、「週に 1 回程度、または、それ以上行った」又は「月に数回程度行った」と回答する学級担任の割合を 100%にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【教育 DX】</p> <p>ICT を活用した教育の推進をする。</p>	
<p>指標</p> <p>授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)</p>	
<p>取組内容②【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>「学校における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準に基づき、働き方改革に取り組む。</p>	
<p>指標</p> <p>ゆとりの日については、月 2 回以上設定する。また、学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては 1 日以上設定する。</p>	
<p>取組内容【生涯学習の支援】</p> <p>読書に親しみ、いろいろな本に出会う機会を作り、国語の学習にとらわれず、様々な教科で本の活用を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館やその蔵書を活用した授業を週に 1 回以上、もしくは月に数回程度行ったと回答する学級担任の割合を 100%にする。</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点